

初級簿記

【第14回】

試算表・精算表

試算表

試算表

3/3 商品 ¥250,000を仕入れ、約束手形を振り出した。

(借) 仕 入 250,000 (貸) 支払手形 250,000

3/4 商品 ¥400,000を売り上げ、代金のうち ¥250,000は現金で受け取り、残額は掛けとした。

(借) 現金 250,000 (貸) 売上 400,000
売掛金 150,000

3/5 商品 ¥150,000を仕入れ、代金のうち ¥75,000は現金で支払い、残額は掛けとした。

(借) 仕 入 150,000 (貸) 現金 75,000
買掛金 75,000

試算表

3/6 倉庫に保管中の不要となった書籍類を売却し、現金 ¥6,000を受け取り、雑益として処理した。

(借) 現 金 6,000 (貸) 雑 益 6,000

3/7 売買目的でヤマネ産業(株)の株式1,200株を1株 ¥1,000で購入し、代金は未払いとした。

(借) 売買目的有価証券 1,200,000 (貸) 未 払 金 1,200,000

3/10 商品 ¥200,000を仕入れ、代金は掛けとした。

(借) 仕 入 200,000 (貸) 買 掛 金 200,000

3/11 売掛金 ¥380,000が当座預金に振り込まれた。

(借) 当 座 預 金 380,000 (貸) 売 掛 金 380,000

試算表

3/12 株式の購入に伴う未払金 ¥1,200,000の支払いのために小切手を振り出した。

(借) 未払金 1,200,000 (貸) 当座預金 1,200,000

3/13 商品 ¥500,000を売り上げ、代金のうち ¥200,000は現金で受け取り、残額は約束手形で受け取った。

(借) 現金 200,000 (貸) 売上 500,000
受取手形 300,000

3/14 売掛金 ¥250,000を約束手形で回収した。

(借) 受取手形 250,000 (貸) 売掛金 250,000

試算表

3/14 商品の手付金として ¥150,000を小切手を振り出して支払った。

(借) 前払金 150,000 (貸) 当座預金 150,000

3/17 商品 ¥80,000を売り上げ、代金のうち ¥60,000は当店発行の商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。

(借) 現金 20,000 (貸) 売上 80,000
商品券 60,000

3/18 得意先より当座預金に ¥50,000の振込みがあったが、その内容は不明である。

(借) 当座預金 50,000 (貸) 仮受金 50,000

試算表

3/19 3/7に購入したヤマネ産業(株)の株式450株を、1株
¥1,250で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金
へ預け入れた。

(借) 当 座 預 金	562,500	(貸) 売買目的有価証券	450,000
		有価証券売却益	112,500

3/21 社員の出張にさいし、旅費交通費 ¥45,000を現金で概
算払いした。

(借) 仮 払 金	45,000	(貸) 現 金	45,000
-----------	--------	---------	--------

3/22 3/18に得意先より振込みのあった ¥50,000は商品注文
の手付金であることが判明した。

(借) 仮 受 金	50,000	(貸) 前 受 金	50,000
-----------	--------	-----------	--------

試算表

3/24 3/14に回収した約束手形 ¥250,000を銀行で割り引き、
手取額 ¥246,000は当座預金とした。

(借) 当座預金 246,000 (貸) 受取手形 250,000
手形売却損 4,000

3/25 本月分給料 ¥225,000を現金で支払った。

(借) 給料 225,000 (貸) 現金 225,000

3/26 12/25に振り出し、昨日決済期日の約束手形 ¥180,000
が、当座預金勘定から引き落とされた旨の連絡を銀行より受けた。

(借) 支払手形 180,000 (貸) 当座預金 180,000

試算表

3/27 商品 ¥350,000を売り上げ、代金のうち ¥200,000は現金で受け取り、残額は掛けとした。

(借) 現	金	200,000	(貸) 売	上	350,000
	売	掛	金		150,000

3/28 出張していた社員が戻り、旅費交通費の精算をし、現金で残額の ¥3,000の返済を受けた。

(借) 現	金	3,000	(貸) 仮	払	金	45,000
	旅	費	交	通	費	42,000

3/31 買掛金の支払いのため、保有していた約束手形 ¥500,000を裏書譲渡した。

(借) 買	掛	金	500,000	(貸) 受	取	手	形	500,000
-------	---	---	---------	-------	---	---	---	---------

精算表

精算表

1) 決算日までに判明した未処理事項

1. 決算直前に得意先八王子商店に販売した商品に品違いがあり、原価 ¥150,000（売価 ¥205,000）の商品が返品されてきたが、この取引が処理されていなかった。この返品分については、同店に対する売掛金と相殺することとした。

(借) 売 上 205,000 (貸) 売 掛 金 205,000

2. 得意先から受け入れていた約束手形 ¥350,000を買掛金支払いのため、仕入先高尾商店に裏書譲渡していたが、この取引が処理されていなかった。

(借) 買 掛 金 350,000 (貸) 受 取 手 形 350,000

精算表

3. 出張中の社員から当座預金口座へ振り込まれた ¥280,000 については、仮受金で処理していたが、¥180,000については得意先文京商店に対する売掛金を回収したものであり、¥100,000については得意先茗荷谷商店から受領した手付金であることが判明した。

(借)	仮	受	金	280,000	(貸)	売	掛	金	180,000
						前	受	金	100,000

精算表

2) 期末整理事項

1. 受取手形および売掛金の期末残高に対して3%の貸倒れを見積もる。貸倒引当金の設定は差額補充法による。

(借) 貸倒引当金繰入 8,690 (貸) 貸倒引当金 8,690

2. 売買目的有価証券の時価は ¥ 3,050,000である。時価法により評価替えをする。

(借) 売買目的有価証券 200,000 (貸) 有価証券評価益 200,000

精算表

3. 期末商品の棚卸高は ¥ 783,000である。なお、この期末商品棚卸高には、(1) 決算日までに判明した未処理事項における返品分は含まれていない。売上原価は「仕入」の行で計算すること。

(借) 仕	入	878,000	(貸) 繰	越	商	品	878,000	
	繰	越	商	品	933,000	仕	入	933,000

4. 建物および備品については定額法により減価償却を行う。

◆建物 耐用年数30年 残存価額：取得原価の10%

◆備品 耐用年数5年 残存価額：取得原価の10%

(借) 減	価	償	却	費	522,000	(貸) 建物減	価	償	却	累	計	額	360,000							
													備品減	価	償	却	累	計	額	162,000

精算表

5. 借入金は、平成24年12月1日に借入期間9ヶ月、年利率5%の条件で借り入れたもので、利息は元金とともに返済時に支払うことになっている。利息については月割り計算による。

(借) 支払利息 50,000 (貸) 未払利息 50,000

6. 保険料は、全額建物に対する火災保険料を6月1日に向こう1年分支払っている。

(借) 前払保険料 20,000 (貸) 保険料 20,000

7. 消耗品の期末未消費高は ¥ 12,290である。

(借) 消耗品 12,290 (貸) 消耗品費 12,290

精算表

8. 家賃の未収分が ¥87,000ある。

(借) 未 収 家 賃 87,000 (貸) 受 取 家 賃 87,000